

工事の前に住宅全景と改修する窓の
写真を撮影してね！



千葉市脱炭素キャラクター
エコ葉

窓の断熱改修申請の手引き

申請書類作成前の確認事項

- 住んでいる(住民票のある)住宅を改修しましたか
- 市に納付すべき税の滞納はありませんか
- 過去に窓の改修に係る市の補助金の交付を受けていませんか
- 内窓又は外窓の改修ですか(ガラスのみの交換は対象外です)
- 改修した窓は一般社団法人環境共創イニシアチブ (SII) 又は公益財団法人北海道環境財団に登録されている製品ですか
- 1室単位で外気に接する全ての窓を断熱化していますか
- 工事はR8/4/1以降に着工し既に完了していますか
- 改修代金は支払済ですか

上のすべての項目がチェック済なら申請書類を作成してください。

書類が全て揃っていない、記載事項に不備がある等の場合、受理することができませんのでご注意ください。書類が全て揃った時点で受理となります。

次ページ【申請書類作成の流れ】に従って作成するとスムーズです。

その他書類の記入にあたってご不明な点がございましたら、以下へお問い合わせください。

【書類の提出・お問い合わせ先】

〒260-8722 千葉市中央区千葉港1番1号 千葉市役所本庁舎高層棟7階
千葉市 環境局 環境保全部 脱炭素推進課（企画班）

（受付：平日 9：00 ～ 17：00）

電話 043-245-5185

E-mail kankyohozen-hojokin@city.chiba.lg.jp

【申請書類作成の流れ】

配置図作成(3^ア-ジ 参照)

※断熱窓が明示された配置図を使用していただくと便利です。(HPからダウンロードできます)

- ① 窓の位置、部屋の仕切り（扉など）がわかる住宅平面図を使用
※手書きの平面図は可能な限り避けてください。
- ② **対象** **対象外** を窓ごとに記載
※「1室単位で外気に接する全ての窓を断熱化すること」が要件です。
- ③ 窓に付番

P16

提出書類

NO.9

写真を用意(4~5^ハ-ジ 参照)

※写真台帳を使用していただくと便利です。(HPからダウンロードできます)

- ① 住宅全景写真は窓断熱改修工事前に撮影したものを使用
- ② 配置図と比較できるように写真（台帳）に付番
- ③ 住宅全景、改修前、改修後 それぞれの写真に撮影日を記入

P17

提出書類

NO.11

NO.12

契約書類をそろえる(6~8^ハ-ジ 参照)

- ① 工事請負契約書と見積書（契約の内訳がわかるもの）
- ② 窓断熱工事に係る領収書（または領収証明書）
- ③ 国補助金を申請した場合は交付決定通知書

P16

提出書類

NO.4、5

NO.6

NO.13

業者に必要書類を依頼(9~11^ハ-ジ 参照)

- ① 「窓断熱改修に関する補助対象経費内訳書」
(HPからダウンロードできます)
- ② 国補助金を申請したが、交付決定通知書がまだ届かない場合は「先進的窓リノベ2026事業専用ポータル」の申請画面
- ③ 「性能証明書」 **配置図** **写真** と比較できるように性能証明書に付番

※性能証明書の性能区分が内窓は「P(SS)」「S」
外窓は「P(SS)」「S」「A」が先進的窓リノベ対象。

P16.17

提出書類

NO.8

NO.13

NO.10

性能証明書がない場合は必要書類をそろえる(12~13^ハ-ジ 参照)

- ① 断熱窓の仕様 (HPからダウンロードできます)
- ② 設備の仕様を確認できる書類 (カタログや仕様書)
- ③ 改修した窓が未使用品であることを確認できる書類 (保証書や出荷証明書)

P17

提出書類

NO.10-1

NO.10-2

NO.10-3

申請書記入(14^ハ-ジ 参照)

すべて書類が揃っていれば申請可能です。

電子申請

窓 □

郵 送

P16

提出書類

NO.1

配置図作成

(16ページ)提出書類 NO.9 も併せて参照してください。

断熱窓が明示された配置図

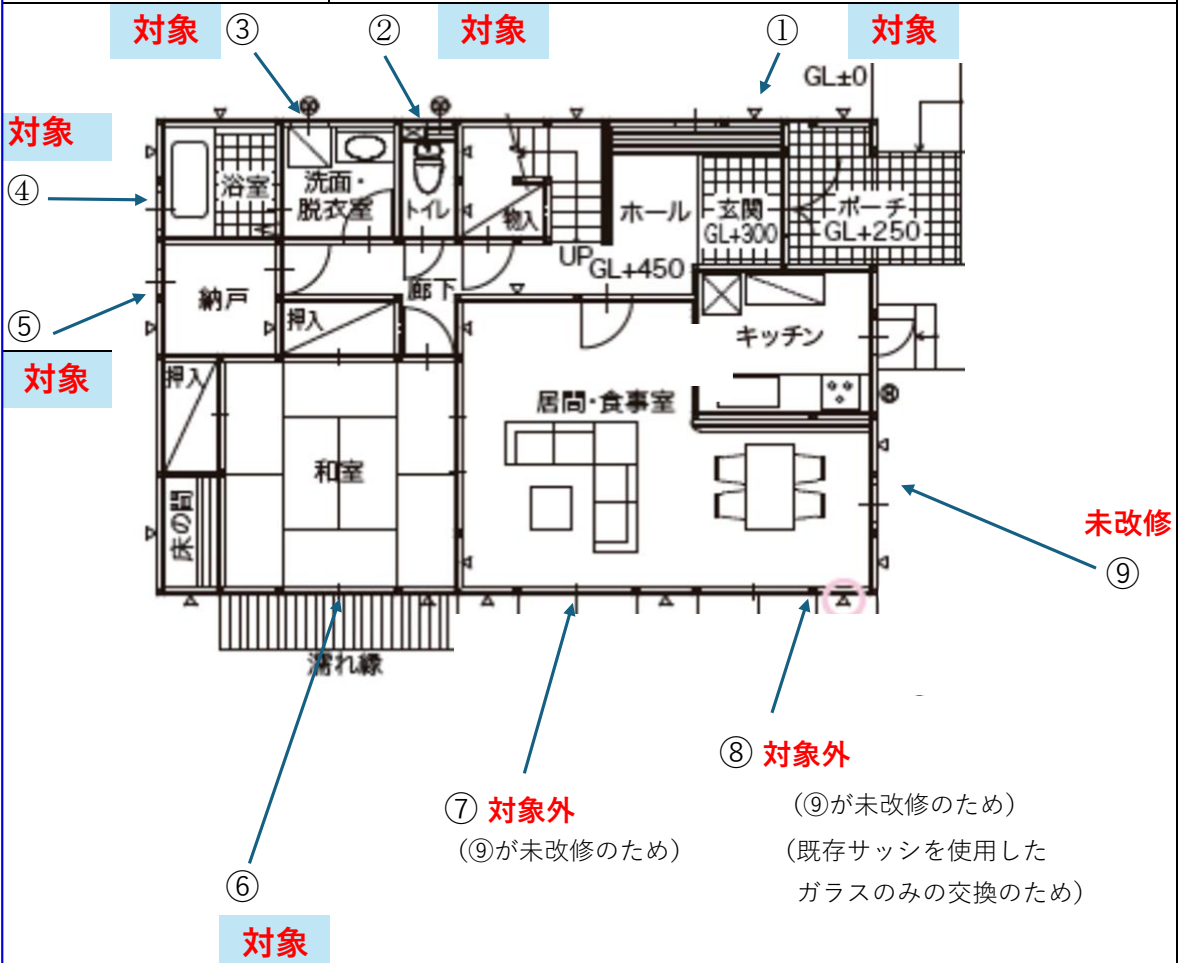
記入例

- 断熱窓を設置する部屋の平面図は可能な限り手書きのものは避けてください。
- 断熱窓の設置箇所を明記してください。
- 窓に付番してください。なお、この番号は改修前・後の写真や性能証明書、「断熱窓の仕様」の番号と共通です。

申請者氏名を記載してください。

申請者氏名

千葉 太郎



断熱改修した全ての窓について、

「対象」「対象外」「未改修」のいずれかを記載してください。

※未改修の窓⑨がある場合は、

⑦⑧は補助対象外となります。

写真を用意

(17ページ)提出書類 NO.12 も併せて参照してください。

【断熱窓改修前の写真（住宅全景）】

住宅全体を撮影してください。（既築の証明として必要です）

※任意様式の写真台帳を使用いただくと便利です。

※撮影日を記載してください。

記入例

【参考】撮影例

	設備名	窓の断熱改修
	撮影内容	住宅全景写真
	施工時期	施工前
	写真撮影日	R 〇年〇月〇日

【断熱窓改修前の写真（窓の状況）】

※撮影日を記載してください。

	設備名	窓の断熱改修
	撮影内容	近景写真
	番号	⑧
	施工時期	施工前
	写真撮影日	R 〇年〇月〇日


写真を用意

(17ページ)提出書類 NO.12 も併せて参照してください。

【断熱窓改修後の写真（窓の状況）】

※撮影日を記載してください。

記入例

	設備名	窓の断熱改修
	撮影内容	近景写真
	番号	⑧
	施工時期	施工後
	写真撮影日	R 〇年〇月〇日

- 施工前後の写真を、それぞれ同じ角度から撮影してください。
例：工事作業中の写真、新しい窓であることを示すシールが貼られた写真
- 改修したすべての窓について、窓全体が映るように撮影してください。
- 「断熱窓が明示された配置図（平面図等）」で付番した番号と一致するように、付番してください。
(写真台帳を使用しない場合は写真の余白などに付番してください。)

【参考】写真不備の事例

※窓が隠れてしまうもの（カーテン、障子、雨戸、棚、観葉植物等）は除いてから撮影してください。



カーテンで窓が隠れている

家具・電化製品などで窓全体が見えない

契約書類をそろえる①

(17 ページ) 提出書類 NO.4 提出書類 NO.5 も併せて参照してください。

設備の導入費用が記載された工事請負契約書 (コピー)

記入例

住宅リフォーム		請負契約書		
内窓設置工事		印 紙		
工事場所	千葉市中央区千葉港〇ー××ー〇			
工事期間	令和〇年4月〇日より令和〇年〇月〇日			
請負金額	金 1,100,000 円 (税込み)			
注文者	千葉市中央区〇〇 △ー〇ー×			
氏名	千葉 太郎 (印)			
電話番号	043-〇〇〇-〇〇〇〇			
請負者	千葉市中央区〇ー〇ー〇			
氏名	エコ葉工務店代表取締役 〇〇〇〇 (印)			
電話番号	043-〇△〇-〇〇〇〇			

◎双方の記名押印
◎契約内容を変更した場合は変更契約書も添付
◎注文書の場合は注文請書も必要となります

契約の内容がわかる書類 (見積書など) 見積明細書 工事名: 内窓工事

No	名称	数量	定価	販売単価	販売価格	国補助金	備考
①	玄関、ホール	1	120,000	110,000	110,000	40,000	窓リノベ対象
②	トイレ	1	80,000	70,000	70,000	30,000	窓リノベ対象
③	洗面所	1	80,000	70,000	70,000	30,000	窓リノベ対象
④	浴室	1	80,000	70,000	70,000	30,000	窓リノベ対象
⑤	納戸	1	70,000	60,000	60,000		窓リノベ対象外 北海道環境財団対象
⑥	和室	1	200,000	190,000	190,000	70,000	窓リノベ対象
⑦	リビング(1)	1	200,000	190,000	190,000	70,000	窓リノベ対象 千葉市申請対象外
⑧	リビング(2)	1	200,000	190,000	190,000	70,000	窓リノベ対象 千葉市申請対象外
	取付工事費	8	15,000	10,000	80,000		
	値引き				▲30,000		
	消費税				100,000		
	合計				1,100,000	340,000	
	支払額				1,100,000		

P3 配置図参照

※窓⑦⑧は同室の窓⑨が未改修のため、千葉市の補助対象外となります。

窓⑧は既存サッシを使用したガラスのみの交換のため、千葉市の補助対象外となります。

窓⑤は国の先進的窓リノベ事業対象外ですが、公益財団法人北海道環境財団に登録されているため千葉市の補助対象となります。よって、千葉市の補助対象窓は①～⑥となります。

※支払額 (領収金額) は請負金額とおりの 1,100,000 円となります。

契約書類をそろえる②

(17 ページ)提出書類 NO.6 も併せて参照してください。

設備の導入費用に係る領収書 (コピー)

記入例

領 収 書

令和〇年〇月〇日

千葉 太郎 様

1,100,000 円 (税込み) 窓の断熱改修代として

請負者 千葉市中央区〇-〇-〇

氏名 エコ葉工務店

代表取締役 〇〇〇〇

印

印
紙

電話番号 043-〇△〇-〇〇〇

領収書が発行できない場合は領収証明書 (原本) ※業者に依頼してください。

領収証明書

(あて先) 千葉市長

RO 年 〇月 〇日

住 所 千葉市中央区〇-〇-〇

名 称 エコ葉工務店

代表者職氏名 代表取締役 〇〇〇〇

印

次の顧客の千葉市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金に関し、下記内容で代金を受領いたしました。なお、本書は顧客のクレジット (ローン) 返済金の受領を証するものではありません。

支払者	氏 名	千葉 太郎
(申請者)	住 所	千葉市中央区千葉港 1-1

支払額	費 用	金 額	入金 (受領) 日
	現金		1,100,000 円
	クレジット (ローン)	円	R 年 月 日
	合 計		1,100,000 円
支払対象設備 (該当する設備にチェック)	<input type="checkbox"/> 太陽光発電システム	<input type="checkbox"/> 電気自動車	
	<input type="checkbox"/> ZEH+	<input type="checkbox"/> プラグインハイブリッド	
	<input type="checkbox"/> 家庭用燃料電池システム(エネファーム)	<input type="checkbox"/> 燃料電池自動車	
	<input type="checkbox"/> 定置用リチウムイオン蓄電システム	<input type="checkbox"/> V2H 充放電設備	
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓の断熱改修		

※原本でのご提出をお願いします

契約書類をそろえる③ ※国補助金を申請した場合

(17ページ)提出書類 NO.13 も併せて参照してください。

国補助金の交付決定通知書 (例)

※交付決定通知のはがき等がまだ届いていない場合は、P36の「先進的窓リノベ専用ポータル」の申請画面のコピーが必要になります。

見本 (はがき)

先進的窓リノベ2024事業 交付決定と振込のお知らせ	
先進的窓リノベ2024事業事務局	
<p>ご申請いただきました先進的窓リノベ2024事業補助金に関して、下記のとおり交付決定と振込について、お知らせします。 補助金の交付を希望しない場合、取下期日までに事務局までお知らせください。 詳しくは補助事業者までお問い合わせください。</p>	
記	
1. 補助金の交付対象となる事業および内容は以下の補助金交付申請のとおりとする。	
交付申請番号	R4-██████████
交付申請日	令和6年12月14日
補助事業者*1 (窓リノベ事業者)	株式会社 ██████████
担当者氏名	██████████
共同事業者 (工事発注者)	██████████
リフォーム対象 住宅の住所 (補助対象住宅)	266-0032 千葉県 千葉市 ██████████ ██████████
*1 法人格を有さない事業者の場合、代表者氏名を記載しています。	
2. 「1」の交付申請に基づく補助金の交付決定額は以下のとおり決定する。	
交付決定番号	SII-CUB ██████████
交付決定日	令和6年12月25日
交付決定額	279,000円
補助金支払日 (予定)*2	令和7年 2月27日
取下期日	令和7年 2月12日
*2 口座情報に不備がある場合等により、補助金支払日(予定)に振込ができない場合があります。 以上	
補助金の 交付・還元	<p>補助金は、補助事業者に振り込まれます。</p> <p>共同事業実施規約の締結時、両者で合意した方法で、補助事業者から本補助金の還元を受けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助事業に係る契約代金に充当 ・現金での支払い
補助金の 交付後	<p>▶ 補助金の交付から10年間は補助金の交付を受けて取得した断熱窓等を国・事務局の承認なく交付の目的に反して処分等を行うことはできません。</p> <p>▶ 本補助金は一時所得に該当します。ただし、確定申告における所定の手続きにより、所得の算入から除外できる場合があります。詳しくは税務署にお問い合わせください。(本ハガキは確定申告まで大切に保管してください)</p>
【記載内容に関するお断り】 ・印字できない一部の文字は、常用漢字もしくはひらがなに置きかえている場合があります。	

業者に必要書類を依頼 ①

(16ページ)提出書類NO.8 も併せて参照してください。

窓断熱改修に関する補助対象経費内訳書

記入例

申請者の氏名を記載してください。

窓断熱改修に関する補助対象経費内訳書

- **千葉 太郎** 様邸の窓断熱改修に関する工事費用等については以下のとおりになります。

1 補助対象の窓の断熱改修に関する工事請負金額 (税抜)

a 本体価格(販売価格)	8か所工事をした工事費が80,000円、 そのうち6か所が補助対象窓である	570,000 円
b 設置工事に係る費用	場合80,000円÷8か所×6か所という ように按分してください。	60,000 円
c 値引き	【対象外の窓がある場合は窓の数 値引きも同様に按分してく ださい。	22,500 円
d 国等補助金充当額		300,000 円

注) 上記に記載する金額に補助対象外の窓や補
含めないでください。対象外の窓の国補助の
金額は差引いてください。

補助対象経費 (a+b-c-d)	407,500 円
------------------	-----------

※ 申請書兼実績報告書(様式第1号)に記載
【補助対象経費(税抜)】の金額と一致させて

申請する設備の「工事着工日」「工事完了日」を記載してください。なお、複数の設備を申請する場合は、工事着工日は早い日付、工事完了日は、遅い日付を記載してください。

2 申請する設備の工事期間

・工事着工日	令和 ○年 ○月 ○日
・工事完了日	令和 ○年 ○月 ○日

3 工事請負業者

・所在地	〒 ○○○ - ○○○○ 千葉市中央区千葉港●丁目●番●号
・会社名	株式会社 職名の記入漏れにご注意ください。 (書類の不備となります。)
・代表者職氏名	代表取締役 ○○ ○○ 印※

工事請負業者の情報「所在地」、「会社名」、「職氏名」は、領収書発行元と同じ情報を記載してください。

※印は領収書発行元と同じ印鑑で押印してください。ご担当者の個人の印鑑は不可です。

領収書発行元と同じ印影で押印してください。
(代表者印、役職印又は社印)

業者に必要書類を依頼③

『性能証明書』

※配置図提出書類 NO.9、写真提出書類 NO.11 提出書類 NO.12 と比較できるように付番する。

性能証明書

①

製品型番 : 003NPFHPSSM
書類番号(通し番号) : 38OBR901-034NY8P49001E

製品型番
QRコード

1 区 分 : 内窓

2 製品名 : インプラス 引違い窓・FIX窓・開き窓 複層ガラス

3 建具の材質 : 樹脂

4 開閉方式 : 引違い

5 窓サイズ : W 1195 mm × H 2002 mm

6 面積 : 2.3 [m²] (中)

7 性能区分コード : **S** (熱貫流率1.5以下)

通し番号
QRコード

発行日 : 2024/12/09
事業者名 : 株式会社LIXIL
組立事業者名 : 株式会社LIXIL

現場名 : [REDACTED]

—注意事項—
■「住宅省エネキャンペーン」は、国土交通省の「子育てエコホーム支援事業」と、環境省の「先進的窓リノベ事業」が実施する住宅の省エネ化への支援策の総称であり、本証明書は、両事業共通の性能証明書です。(※)
※製品型番によって申請できる事業に限られる場合があります。(先進的窓リノベ事業は性能区分「B」「C」「D」「E」は対象外となります。)
※子育てエコホーム支援事業は、面積X[極小]サイズは対象外となります。
※設置する住宅の種別や地域によって「断熱改修基準」を満たさない場合、必須工事(断熱等改修またはエコ住宅設備の設置)を一緒に行う場合、「防災性向上改修」として対象になります。
※設置する住宅の種別や地域によって補助額が異なります。

※配置図のとおり付番した性能証明書があれば以下3つの書類は省略できます。

断熱窓の仕様 提出書類 NO.10-1

設備の仕様を確認できる書類 (コピー) 提出書類 NO.10-2

補助対象設備が未使用品であることを確認できる書類 提出書類 NO.10-3

【注意】性能区分コードが
内窓は「P(SS)」「S」が先進的窓リノベ対象。
外窓は「P(SS)」「S」「A」が先進的窓リノベ対象。
上記以外の場合でも北海道環境財団に「窓として」登録があれば申請は可能。
この場合、提出書類 NO.10-1 と 提出書類 NO.10-2 が必要。
(提出書類 NO.10-3 は省略できます)
ただしグレードが「W1」「W2」「W3」「M1」「M2」「M3」以外は対象外

性能証明書がない場合は必要書類をそろえる①

(17ページ)提出書類 NO.10-1 も併せて参照してください。

断熱窓の仕様

記載例⑤（納戸）は先進的窓リノベ事業対象外のため国補助金の対象ではありませんが、北海道環境財団対象の設備は千葉市の補助対象となるため『断熱窓の仕様』の提出が必要となります。

※グレード「W1」「W2」「W3」「M1」「M2」「M3」以外は対象外

断熱窓の仕様		記入例
申請者氏名		千葉 太郎
番号	仕様	
①	登録日： ○年 ○月 ○日 メーカー名： △△△株式会社 北海道環境財団登録型番： □□□□□□ 製品名： ■■■■■■ グレード： (W1 <input checked="" type="checkbox"/> W2 <input type="checkbox"/> W3) M1 M2 <input checked="" type="checkbox"/> M3	
②	登録日： ○年 ○月 ○日 メーカー名： △△△株式会社 北海道環境財団登録型番： □□□□□□ 製品名： ■■■■■■ グレード： (W1 <input checked="" type="checkbox"/> W2 <input type="checkbox"/> W3 M1	
③	登録日： ○年 ○月 ○日 メーカー名： △△△株式会社 北海道環境財団登録型番： □□□□□□ 製品名： ■■■■■■ グレード： (W1 <input checked="" type="checkbox"/> W2 W3 M1 <input type="checkbox"/> M2 <input checked="" type="checkbox"/> M3)	
④	登録日： メーカー名： 北海道環境財団登録型番： 製品名： グレード： (W1 <input checked="" type="checkbox"/> W2 <input type="checkbox"/> W3 M1 M2 <input checked="" type="checkbox"/> M3)	
	登録日： 年 月 日 メーカー名： 北海道環境財団登録型番： 製品名： グレード： (W1 <input checked="" type="checkbox"/> W2 W3 M1 M2 <input checked="" type="checkbox"/> M3)	
	登録日： 年 月 日 メーカー名： 北海道環境財団登録型番： 製品名： グレード： (W1 <input checked="" type="checkbox"/> W2 W3 M1 M2 <input checked="" type="checkbox"/> M3)	
	登録日： 年 月 日 メーカー名： 北海道環境財団登録型番： 製品名： グレード： (W1 <input checked="" type="checkbox"/> W2 W3 M1 M2 <input checked="" type="checkbox"/> M3)	

該当のグレードに○をしてください

写真、配置図に付番した窓の番号を記入してください。

性能証明書がない場合は必要書類をそろえる③

(17ページ)提出書類 NO.10-3 も併せて参照してください。

補助対象設備が未使用であることを証明できるいずれかの書類

- 保証書のコピー（補助対象設備が確認できるもの。）
※保証開始日、販売店名、機器の型式、購入者氏名、住所が確認できるもの。
- 出荷証明書のコピー（納品書も可。補助対象設備が記載されているもの。）
※出荷日が記載されていないものや、宛先が申請者でないものは不可。
- メーカーが発行する製品の性能を証明する書類（性能証明書など）

出荷証明書

見本

2026年 ○○月 ○○日

〔工事請負会社〕

エコ葉工務店 様

〔販売者名〕

業者名 ○○○○株式会社

○○営業所 印

住所 ○○○○○○○○○

電話番号 ○○○-○○○○-○○○○

下記のとおり出荷したことを証明いたします。

記

物件名（現場名）	千葉 太郎 様邸 断熱窓改修工事
物件住所（納入場所）	千葉市中央区千葉港1-1
出荷日	2025年 ○月 ○○日

番号	登録番号	メーカー名	製品名	数量	備考
○○	○○○○○	○○○○	○○○○○	○	

申請書記入

1 千葉市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金交付申請書兼実績報告書（様式第1号）

記入例

※書類を訂正する場合は、「申請書類の訂正方法」をご確認のうえ適切におこなってください。

様式第1号

令和〇年〇月〇日

千葉市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金交付申請書兼実績報告書

(あて先) 千葉市長

〒260-0026

住所 千葉市中央区千葉港×-×-×

フリガナ
氏名(自署)

千葉 太郎

電話番号(自宅)

〇〇〇-××××-××××

電話番号(携帯等)

〇〇〇-××××-××××

電子メールアドレス

chiba@××-××.com

生年月日

(西暦) 〇〇〇〇年〇月〇日

「申請日」は、提出日または郵送日を記入ください。

自署の脇と書類の上段の余白に押印することにより、書類の訂正対応がスムーズになりますので、ご確認ください。

自署または記名押印してください。

千葉市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金を受けたいので、千葉市補助金等交付規則第3条の規定により、次のとおり申請します。

設備を導入した住宅の区分(いずれかに☑)		■ 既築住宅		□ 新築住宅		□ 建売住宅	
□ 太陽光発電システム (既築住宅に限る)	最大出力値	太陽電池モジュール	キロワット(小数第3位を四捨五入)				
	算定に係る出力値(最大4.50)	パワーコンディショナー(モジュールが10キロワット未満である場合は記入不要)	キロワット(小数第3位を四捨五入)				
居住する住宅に併設した設備(該当するものに☑) ※併設設備も申請する場合は、該当設備欄にも記入		□ 定置用リチウムイオン蓄電システム					
補助金交付申請額 <上限>「算定に係る出力値×10,000円(千円未満切捨て)」 又は「45,000円」のうち小さい額		□ V2H充放電設備					
□ ZEH+ (ゼッチプラス)	補助金交付申請額	円		補助金交付申請額 <上限>100,000円			
□ 家庭用燃料電池システム(エネファーム)	補助金交付申請額	円		補助金交付申請額 <上限>100,000円			
□ 定置用リチウムイオン蓄電システム	補助金交付申請額	円		補助金交付申請額 <上限>70,000円			
■ 窓の断熱改修 (既築住宅に限る)	国等補助金充当額 ^{※1}	円		補助金交付申請額 <上限>「補助対象経費×1/10(千円未満切捨て)」 又は「50,000円」のうち小さい額			
	補助対象経費(税抜) ^{※2}	707,000 円		654,321 円		80,000 円	
※1 国等からの補助金を充当する(予定)の場合、その補助金額を記入。ない場合はなしに☑ ※2 補助事業に係る経費(税抜)から国等補助金充当額を差し引いた額							
□ 電気自動車	居住する住宅に併設した設備(該当するものに☑) ※V2H充放電設備のみのチェック不可 ※併設設備も申請する場合は、該当設備欄にも記入	□ 太陽光発電設備(発電した電気を左記自動車に充電できるもの)					
□ プラグインハイブリッド自動車	補助金交付申請額	円		補助金交付申請額 <上限>太陽光発電設備併設時:100,000円 さらにV2H充放電設備も併設時:150,000円			
□ V2H充放電設備	国等補助金充当額 ^{※1}	円		補助金交付申請額 <上限>「補助対象経費×1/10(千円未満切捨て)」 又は「50,000円」のうち小さい額			
補助対象経費(税抜) ^{※2}		円		補助金交付申請額 <上限>「補助対象経費×1/10(千円未満切捨て)」 又は「50,000円」のうち小さい額			
※1 国等からの補助金を充当する(予定)の場合、その補助金額を記入。ない場合はなしに☑ ※2 補助事業に係る経費(税抜)から国等補助金充当額を差し引いた額							
補助金交付申請額(合計)		80,000 円					

補助対象設備として「窓の断熱改修」にチェックしてください。

国等補助金の交付がない場合は「なし」にチェック。国等補助金充当額、補助対象経費は補助対象経費内訳書に記載されている金額と一致。

補助金交付申請額の合計を記入してください。

同意欄にチェックを入れてください。

住宅の所有者が申請者以外にいる場合は、その方の自署が必要

補助金交付申請額に係る金額の訂正はできませんので、書き損じた場合は新しい用紙に書き直してください。